

荻窪病院だより

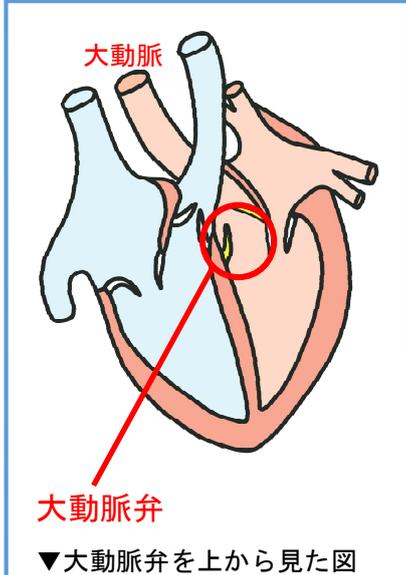
息切れや動悸を感じたら早めにご相談を！ 大動脈弁狭窄症に対する 経カテーテル大動脈弁置換術TAVI^{タビ}を開始

年のせいだと思いついで、息切れや胸の痛み、疲れやすいことなどを我慢していませんか。

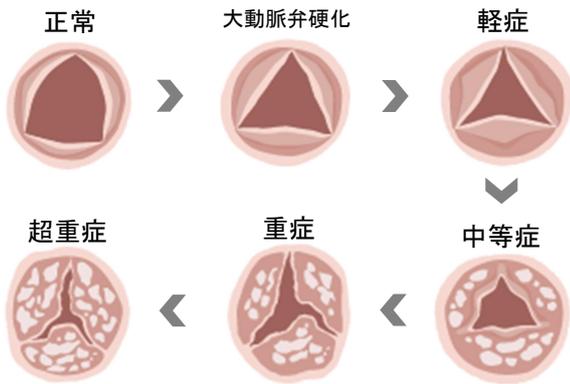
心臓には4つの弁があり、はたらきが悪化すると症状も少しずつ悪くなり、発見が遅れることがあります。

今回は特に、大動脈弁が硬くなることで心臓に負担がかかる大動脈弁狭窄症と、その病気に対する新しい治療TAVI(タビ)について、心臓血管センター/循環器内科医長の加畑充医師が解説します。

TAVIは、重度の大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療で、開胸せず心臓



▼大動脈弁を上から見た図



提供: エドワーズライフサイエンス合同会社

いったんかかると元に戻らず、弁硬化、軽症、中等症、重症、超重症へと進行していきます。

を止めずにできることから、体への負担が少なく入院期間も比較的短いのが特徴です(保険適用)。

Q 大動脈弁狭窄症とはどのような病気ですか

心臓の左心室と大動脈の間にある大動脈弁が硬くなることで、心臓から全身に

血液を送り出す力が弱まる病気です。高齢になるに連れて発症することが多く、初期段階では自覚症状がないことがあるため症状が出はじめたら早めの受診が重要です。

Q このような症状がありますか

大動脈弁狭窄症の主な症状は、息切れ、動悸、足のむくみ、身体がだるく疲れやすくなる、失神、狭心痛(胸の痛み)、呼吸困難です。

Q TAVIはどのような治療ですか

太ももの付け根などの血管からカテーテルを使って、人工弁を患者さんの心臓まで運び、留置する手術です。外科手術とちがい開胸しないので傷口が小さくて済み、患者さんへの負担が少ないメリットがあります。

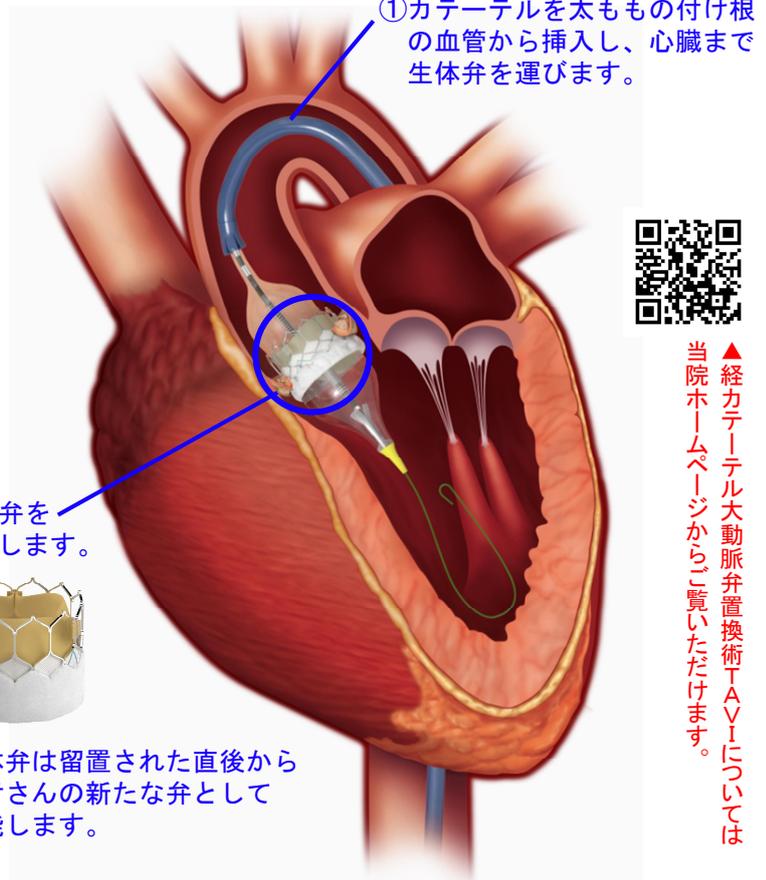
基本的なアプローチ方法で、最も体に負担が少ない経大腿アプローチを例に説明します。(裏面へ)



心臓血管センター
循環器内科 医長
加畑 充 かはた みつる

大動脈弁狭窄症は一般的に高齢になってから出てくる病気で、若くして大動脈弁狭窄症になる方は2尖弁という生まれつきの問題の可能性があるのでよく調べる必要があります。

TAVIが対象となるのは概ね80歳以上の方です。75歳未満の方は外科的手術が推奨されています。75歳以下でも外科手術に耐え



▲経カテーテル大動脈弁置換術TAVIについては
当院ホームページからご覧いただけます。

Q 誰でもTAVIを受けられますか

大動脈弁狭窄症は一般的に高齢になってから出てくる病気で、若くして大動脈弁狭窄症になる方は2尖弁という生まれつきの問題の可能性があるのでよく調べる必要があります。

② 生体弁を留置します。



生体弁は留置された直後から患者さんの新たな弁として機能します。

Q おおよその入院期間を教えてください。

現時点では約1週間としています。今後はより短い入院期間になると予想されますが、早く退院するのが心配で少しリハビリをしたい方の場合でも、通常は翌日から歩行可能なので、1週間で十分でしょう。

られない併存疾患がある場合にはTAVIも検討されます。

Q 大動脈弁狭窄症の治療はTAVI以外にはありますか

様々な理由でTAVIに不適合の場合がありますが、当院では外科的治療として大動脈弁再建術(AVNeo)の選択肢もあります。これは病気で悪くなった大動脈弁を切除し、代わりに心臓という心臓を包んでいる薄い膜を利用して新しい弁を作り縫いつけるという画期的な方法です。

人工弁を使わずに自己心膜を使うことで、異物反応が起こらず、血液サラサラにする薬を長期間にわたり飲まなくてよいなど多くのメリットがあります。



▲大動脈弁再建術については
ホームページ心臓血管外科をご覧ください。

患者さんにとってのベストな治療法をチームで相談、決定していただきます。これまで遠方の病院などではできなかった治療が、ご自宅から近くで通院しやすい当院で可能となりました。もちろん、必要な場合は大学病院等への紹介も行っています。

お気軽に、担当医またはかかりつけ医にご相談ください。

Ogikubo Hospital Topics

**9月9日は救急の日
当院が表彰されました**



**10月12日に
秋の健康講座を行います**

今回は、心臓血管外科医長の浅野竜太医師、形成外科部長の内田龍志医師、栄養管理科の海老原史織管理栄養士が講演します。ようやく日差しが和い秋の日、身体のために大切なお話を聞きにいらつしやいませんか？

日時 10月12日(土)
開演 13時30分

会場 西荻地域区民センター
・定員 60名(抽選)
※事前申込制



▲詳細は当院ホームページをご覧ください。

荻窪病院は
地域医療に
貢献します

理念

基本方針

患者さんへ安心して信頼される医療を提供します。
職員へやり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

- 1.急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
- 2.個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
- 3.豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
- 4.経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。